
私の明久に手を出すな～！！

ゆーり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の明久に手を出すなっ！！

【Nコード】

N1747Y

【作者名】

ゆーり

【あらすじ】

明久の婚約者である少女がたくさん魔の手から明久を救うべく立ち上がる！

「明久の半径10メートル以内に近づくなあ」

それはむりっしょ奥さん

明日はどっちだ！がんばれ悠里！

プロローグ（前書き）

やっちまった感全快。

でも後ろを振り向いたりしない！

行け、行くんだジョ
●ー

プロローグ

みなさんこんにちわ!!

はじめまして佐崎悠里です。

じつは私、婚約者がいるんですが・・・彼ってば無自覚な天然たらしなんです。

私という婚約者がいるのにひどいと思いませんか？

彼の名前は吉井明久といいます。皆さん知っていますよね？

だから私、他の女たちから明久を守るために頑張ります！

まずはじめに要注意人物を確認しなきゃですね。

1人目 姫路瑞希 彼女ったら明久にべったりなんですよ。

いくら幼馴染だからってくつつくのは関係ないですよ。

いすよね？

しかも絶対天然でもドジでもないです！

（これって計算って言ってますっけ？）

2人目 島田美波 彼女は暴力女ですね。

すきって言えずに照れかくしっだっていつでもあきらかにおかしいです。許しません！

まあ他にも明久に恋しっちゃっている人はいるんでしょうが・・・要注意とまではいかないでしょう。

玉野さん？

彼女は論外です。私と明久と幼馴染ですし、私だってアキちゃん好きですもん！

そういえば私、明久と同じ学校には通ってませんでした。

そのせいでもう女が明久に寄り付いていますけど・・・

じゃあなんで知っているかって？

すべて玲さんが教えてくれたのです！（くわしくはまた今度・・・

）

でわでわ明久を救うべく文月学園に転校です！！

プロローグ（後書き）

ありがとうございました。
でわでわおやすみなさい・・・

突撃？（前書き）

こんにちわ、ゆーりです。

コメントともうれしかったです！

だいぶ短いのですが今回もよろしくお願いします。

実は受験生のためこのお話は不定期になると思います。

気ままに待っていただけるとうれしいです。

でわでわ、どうぞ！

突撃？

始めましての方、お久しぶりの方、おはようございます。

婚約者の明久をたくさん魔の手から救うべく、つい先日、文月学園への転校を決意しました、佐崎悠里です。

そんな私は今、Fクラスのドアの前（あってるのかなあ？）にいます。

・・・ちよつと緊張しますね。

今さらなのですが明久に会うのとても久しぶりなのです。

まあ、いろいろそれには事情があるのですが、置いて・・・いいのかな？

そんなことをしているうちに、先生に呼ばれました。
でわでわ早速、行つてきます！

教室 明久side

「そういうことなので転校生の方、入ってきてください。」

そういうことって何だろうね？ってだれに言ってるの僕！
なんか自分でつつこんで悲しくなってきた・・・

そんなこと考えてたらドアが開いた。

えっ、あれ？なんで・・・？

「はじめまして、佐崎悠里です。」

吉井明久は私の婚約者ですから、手をださないで下さいね。」

そういつてニコッと笑ったのは僕の婚約者だった・・・

突撃？（後書き）

ありがとうございました。

この次もよろしく願います。

でわでわ、今回はこの辺で・・・ちうばー！

屋上です。(前書き)

お久しぶりです。

今回もよろしくお願いします！

屋上です。

はじめましての方、お久しぶりの方、こんにちわ。

私がFクラスで自己紹介をしてからいろいろなことがありました。
いちいち説明するのはめんどくさいので簡単に言えば、明久に手を出したやつら

???団は活動を停止、消えて亡くなりました。

私の明久に手を出したのですから当然の報いですね（ニコッ）

えーっと、姫路さんと清水さん?（・・・島田です）とは

O・H A・N A・S H Iしましたが、こりませんね。

この2人はゆっくりりじわじわと躰けないとですね！

そして今、私は屋上にいます。

明久side

こんにちは、吉井明久です。

何を今さら・・・とか思わないでね、悲しくなるから！

「おまえ、いつからだ?」

バカ雄二が急によくわからないことを言ってきた。

「・・・何が？」

雄二が額に手をあてて、こいつバカだろっていう目で見てくる・

えっと、ふつう急にいつからって聞かれても分かんないよね？

「いつから婚約者がいたんだ？と聞いてるんだ。」

ああ、そういうことか！

「僕と悠里は生まれたときからの付き合いなんだよ。」

僕のお母さんと悠里のお母さんが親友で、住んでる地区は一緒じゃなかったんだけど、結婚してから休みの日にはお互いの家を行き来したりして会ったりしてたんだ。

僕らが生まれてからもそれは変わらなくて、それから何年か経って僕から告白して付き合うようになったんだよ。」

「ふーん、そういうことか・・・」

いつのまにか悠里と話していた姫路さんたちもこっちへ来ていた。

まあ、告白するときにいろいろあったんだけど、大切な思い出だから

誰にも言いたくないし・・・言う必要もないよね。

「そういえば、アキのお姉さんはアキと悠里のこと許してるの?」

まあ、普段あんなことしてくる姉さんだもんね。みんなそう思うだろう。

「ああ、それは『明久!』・・・悠里、どうしたの?」

・・・僕なんかしただろうか???

「今回はこれで終わりというんですよ。」

え、ちょっと・・・どういふことだよー!..!

屋上です。（後書き）

少しでも長くしようとしたらいきなり失敗。
次こそ頑張りたい。

実は今、テスト週間です。

そのため来週いっぱいお休みします。
それなのにこんなんですイマセン・・・。

でわでわ、今度こそ！！

設定！！（前書き）

今頃ですが・・・

設定！！

ささきゆうじ
佐崎悠里

明久とは生まれたときからの付き合いで婚約者。

明久大好きでアキちゃんもぜんぜんOK。

明久のためならなんでもできちゃう。

小5のころに家の都合でアメリカに引越す。

その後も明久とは手紙や電話などで連絡を取っていた。

明久を魔の手！？から救うべくアメリカから戻ってきた。

玲との仲は良好で玲に料理を教えてたりと姉妹のよう。

アメリカにいたけれど英語は苦手・・・しゃべれるけど読めないし、

書けない。しかし国語と社会は得意。

ささきりょうた
佐崎亮太

悠里の兄。

玲とは同じ日に生まれて恋人同士。

明久と同じように天然タラシで性格も似ている。

でも頭はすごくよく、そこらの不良よりも数倍強い。

明久の憧れの人。

アメリカで暮らしているが、玲と暮らすために帰ってくる予定。

ちなみにこの話はAクラス後から始まっています。
いまのところ召喚戦争をするつもりはありません。
明久は少し頭がよくなっています。

得意なのは国語と社会で、悠里と点数はあまり変わりません。

また、この話は明久がハーレムのようなものです。

性格などは変わりませんが秀吉は女の子、翔子は雄二を
好きではありません。

そのためAクラス戦での雄二と翔子のやりとりはなかったことと
します。

ほかの女の子たちも明久のことを好きだったりします。

玉野さんはあくまでアキちゃんを気に入ってるだけとし、明久た
ちとは

幼馴染です。

もしかしたらFクラスのメンバーしか出せないかもしれませんが。
亮太も話にはでてきても直接は出てこないかもしれません。

設定！！（後書き）

お久しぶりです。

また少し時間が出来るのでちよくちよくやっていきたいと思っています。
コメントを下さった方々有難う御座います。
でわでわ今回はこの辺でさようならです。

破壊力 抜群（前書き）

破壊力 抜群

皆さん、こんにちは。佐崎悠里です。

前回は私たちの関係を玲さんは許しているのか？というところで強制終了しました。

本当なら明久の話を聞くべきなのでしょうが、ぶっちゃけ明久の説明は理解不能・・・

ということなので簡単に私が説明しようと思います。

知っている人もいるでしょうが私には兄がいます。

私の兄と玲さんは同じ日に生まれ、今では恋人同士なのです。

そのため私と玲さんは姉妹のように仲がいいので、私と明久が恋人なのは

許してくれている????のです。

それに玲さんが明久にしていたことは実は明久に引付く女をはらうためです。

これは私が玲さんに頼みました。こうでもしないと明久の身に何が起こるか

わかりませんから！

そういえば私は、明久の家に住む予定です。（明久にはまだ内緒

ですよ」

私の家族はまだアメリカにいるため、最初は一人暮らしする予定でしたが

それを知った明久のお母さんが何かあったらどうするの!と言ったので、

いろいろ話し合った結果、明久たちと一緒に住むことになったのです。

「悠里、悠里!もうお昼休みも終わるから教室に戻るよ。」

明久に呼ばれました。・・・いつのまにそんな時間に?

結局、明久とは全然話せませんでした。まあでも、はやく学校が終われば

いっぱい話せますしいいでしょう」

明久 side

お昼休みが終わるから教室に戻ると悠里に言ったら、悠里は少ししょんぼりした

顔を見せた。・・・と思ったら急にフニヤンて笑った。

グサツ、ボタボタ

そんな顔は僕の心にクリティカルヒットした。

鼻血を止めるために手をおさえる。

だって久しぶりに会ったんだよ?

悠里は世界一、ううん宇宙一可愛いから、そんな悠里が僕ぐらいにしか

見せない表情をしたら、もう倒れちゃうよ。

そんなこと言ったら目の前がくらくらして・・・

ほんとに倒れた。

・・・ああ、みんなの声が聞こえる・・・

「アキ！大丈夫！？」

島田さん？

「おい、明久！」

雄二、顔が笑ってるよ？

「明久君！」

姫路さんは、心配性なのかな？

「なんじゃ、明久っ！」

秀吉・・・

「明久！明久！どうしたの、大丈夫？」

悠里、顔近づけられるとヤバイから。

「・・・明久。輸血パック・・・いる？」

もちろんいただくよ、ムツツリーニ・・・。グッ！

僕はムツツリーニのほうを向いて親指を立てた。

バタッ

僕はそのまま意識を手ばなした。

破壊力 抜群（後書き）

今回は長め・・・

そのためだいぶ時間がかかってしまいましたがいかがでしょうか？

僕の心にクリティカルヒット

言葉にしたらとてもじゃないけど恥ずかしい。

今回は番外編・・・だと思っています。

まあ、予定は未定である。ということでは何であらうと
大目にみて下さい。

お願いします。

でわでわ、今回はこの辺で・・・さらばっ！..

番外その1 翔子

なにもかも初めてだった・・・彼のおかげで今の私は此処にいる

《入学式》

学年主席の私は、入学式の新入生代表としてあいさつをすることになった。

あいさつをして教室に戻る際、とある集団に呼び止められ、体育館裏に連れられた。

「なんであんたみたいな女が、学年代表なのよ。」

「先生にでも媚びて、点数もらっただんじやないの？」

「本当なら亜柚が代表のはずだったのに！」

簡単に言えば、彼女たちのリーダー的存在の亜柚という少女は頭がとてもよく、必ず代表になれると周りから期待されてたのだ。しかし、実際は私が彼女よりも点数が高く、私が代表になった。そのため彼女たちはその私が許せないらしい。

だからといって、なぜ私がそんなことを言われなければならないのかわからない。

「別に何もしてない・・・あれは私の実力・・・。」

そう言っても彼女たちは聞き入れてくれず、彼女たちの発する言

葉は

言葉の暴力に変わり始めていた。

いくらなんでもそこまで言われれば私だって傷つく。
誰か助けてくれないだろうか・・・そう思ったとき、

「そこで何をしてるの？せっかくみんな可愛いのに、そんなこと
言ってるよ」

台無しだよ。」

目の前に現れたのは、茶色の髪をもつ、とても可愛い顔をした男
の子だった。

亜柚たちは顔を真っ赤にして、黙ってしまった。

それもそうだろう、彼は確かに可愛いけど雰囲気は全然違ったの
だ。

一言で言えば かつこいい だと思う。

おかしいと思うだろう、でも本当にそうなのだ。

そんな彼に可愛い顔が台無しだと言われてしまえばもう何もいえ
ないだろう。

彼女たちは彼がもう一度何か話そうとする前にどこかへ行っ
てしまった。

「大丈夫だった？たしか学年代表の霧島・・・翔子さんだよね？」

彼女たちが去っていくと彼は私に話しかけてきた。

「・・・そう・・・助けてくれてありがとう・・・名前・・・
？」

「そっか、よかったよ。僕の名前は吉井明久だよ。よろしくね！」

彼はとても人のよさそうな笑顔で答えてくれた。

もう一度言おう。彼のおかげで今私の私は此処にいる。

私と彼の出会いはこれでお終い。

いつか続きが話せるといいと思う・・・。

番外その1 翔子（後書き）

お久しぶりです。

どうだったでしょうか？

感想お待ちしております。

またこの話での明久はカッコ可愛いので・・・

次はたぶん本編に戻ります。

でわでわ、さらばっ！です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1747y/>

私の明久に手を出すな～！！

2011年12月2日21時47分発行